

科目ナンバリング		U-LAS22 10004 SO48									
授業科目名 <英訳>	フランス語 I B (文法) F1107,F1108,F1109 ,F1110,F1111,F1112,F1114 Elementary French B					担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 井上 卓也 非常勤講師 池田 潤 非常勤講師 青山 千紗 非常勤講師 西山 由紀 非常勤講師 柴田 秀樹 非常勤講師 坂井 礼文 人間・環境学研究科 教授 西山 教行				
	群	外国語科目群			分野(分類)		使用言語		日本語及びフランス語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)				
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	月4/火4/火5/木2/木4/ 金2		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
1 フランス語でコミュニケーションをするのに必要な文法の基礎を学ぶ。 2 フランス語の文法学習を通じて多極的世界観を身につける。 (1)フランス語と日本語・英語との相違点に気づく。(複言語学習) (2)フランス語を話す国民の文化や思考法を知る。(複文化学習)											
【到達目標】											
1) 文法を身につけ、フランス語を読んで理解できるようにする。 2) 発音と綴り字の関係を学び、フランス語を声にだして読めるようにする。 3) フランス語を話すための基礎力を身につける。											
【授業計画と内容】											
この講義はフィードバック(方法は別途連絡)を含む全15回で行う。  1 教材は全部で20課ある。各課は、冒頭の複言語・複文化に関係している「テキスト」と文法事項の説明と練習問題で構成されている。後期は9課から始める。 2 授業時間だけでは、フランス語の文法をマスターすることはできない。授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。 3 授業は、CALL教室で教師とともにする学習と教室外でする自律学習のブレンDED形式で行う。  4 毎回1課ずつ進み、各課の終了後に小テストを行う。小テストは自己採点し、その結果の自己分析と学習過程に関するポートフォリオも毎回作成する。											
【履修要件】											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
【成績評価の方法・観点】											
成績評価は、後期末におこなわれる統一試験、小テストの点とポートフォリオ作成の熱心さに基づいておこなう。つまり、学習結果だけでなく、学習過程も評価の対象にする。詳細は授業中に指示する。											
フランス語 I B (文法) F1107,F1108,F1109,F1110,F1111,F1112,F1114(2)へ続く											

フランス語I B (文法) F1107,F1108,F1109,F1110,F1111,F1112,F1114(2)

**【教科書】**

大木・西山・グラスイアニ 『三訂版 グラメール・アクティーフ 文法で複言語・複文化 』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-35233-6

（関連URL）

[https://text.asahipress.com/text-web/france/active\\_call/](https://text.asahipress.com/text-web/france/active_call/)(三訂版 グラメール・アクティーフ)

**【授業外学修（予習・復習）等】**

授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。授業では、教科書の他に各自上記のサイトからダウンロードした教材(サブノート形式の補助教材と確認練習解答用紙)を使う。

**【その他（オフィスアワー等）】**

**【主要授業科目（学部・学科名）】**